

## 第 1 回

## 玉名市景観計画策定委員会 資料

## 目次

1 玉名市における景観行政.....	1
(1) 熊本県景観計画・景観条例.....	1
(2) 高瀬南部地区地区計画.....	1
(3) 玉名市高瀬地区景観形成住民協定.....	1
2 玉名市の成り立ちと地勢・土地利用.....	2
(1) 玉名市の歴史.....	2
(2) 干拓の歴史.....	2
(3) 地勢.....	3
(4) 土地利用現況.....	3
3 景観特性.....	4
(1) 景観構造(面・線).....	4
(2) 景観構造(線・点).....	5
(3) 文化財.....	5
(4) 景観構造(断面).....	6
(5) 景観構造(伝統・行事).....	6
(6) 景観まちづくり活動.....	7
(7) 玉名市の景観特性(玉名市らしい景観).....	8
4 景観形成に向けた問題点・課題.....	9
(1) 景観形成に向けた問題点.....	9
(2) 景観形成に向けた課題(案).....	9

平成 26 年 11 月 18 日

玉名市 建設課

# 1 玉名市における景観行政

## (1) 熊本県景観計画・景観条例

- 玉名市では、現在、熊本県景観計画及び景観条例に基づき、景観行政を行っています。
- 熊本県では、一定の大規模行為について、県全体を届出対象区域としていることから、県全域を景観計画区域（既に景観行政団体である市町村は除く）とし、景観形成地域、特定施設届出地区を設定しています。
- 県の景観形成の基本目標、景観形成の基本的視点、景観形成の方策は以下の通りです。

景観形成の基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 熊本らしい個性ある豊かな景観を守り育てる</li> <li>○ 緑豊かな潤いのある快適な景観を創る</li> </ul>
景観形成の基本的視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然との調和</li> <li>○ 歴史との調和</li> <li>○ ユニバーサルデザインの視点</li> </ul>
景観形成の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 景観形成の誘・推進</li> <li>○ 景観形成に関する合意の形成</li> <li>○ 景観形成活動の促進</li> </ul>

### ① 特定施設届出地区（指定道路）

- 玉名市では、「特定施設届出地区（指定道路）」が位置づけられています。具体的には、国道 208 号、国道 208 号玉名バイパス、国道 501 号であり、これらの道路端から 20 m 以内にこの区域が定められています。
- この区域内での特定施設\*の新築・増設・改築・色彩の変更等は、景観法第 16 条第 1 項の規定に基づく「届出対象行為」となります。

特定施設：パチンコ店、ゲームセンター、ガソリンスタンド、飲食店、スーパー、物販店、ホテル、広告塔、広告板等

- 当区域にて、景観形成基準が定められています。

### ② 大規模行為

- 以下の行為が届出対象行為となっています。

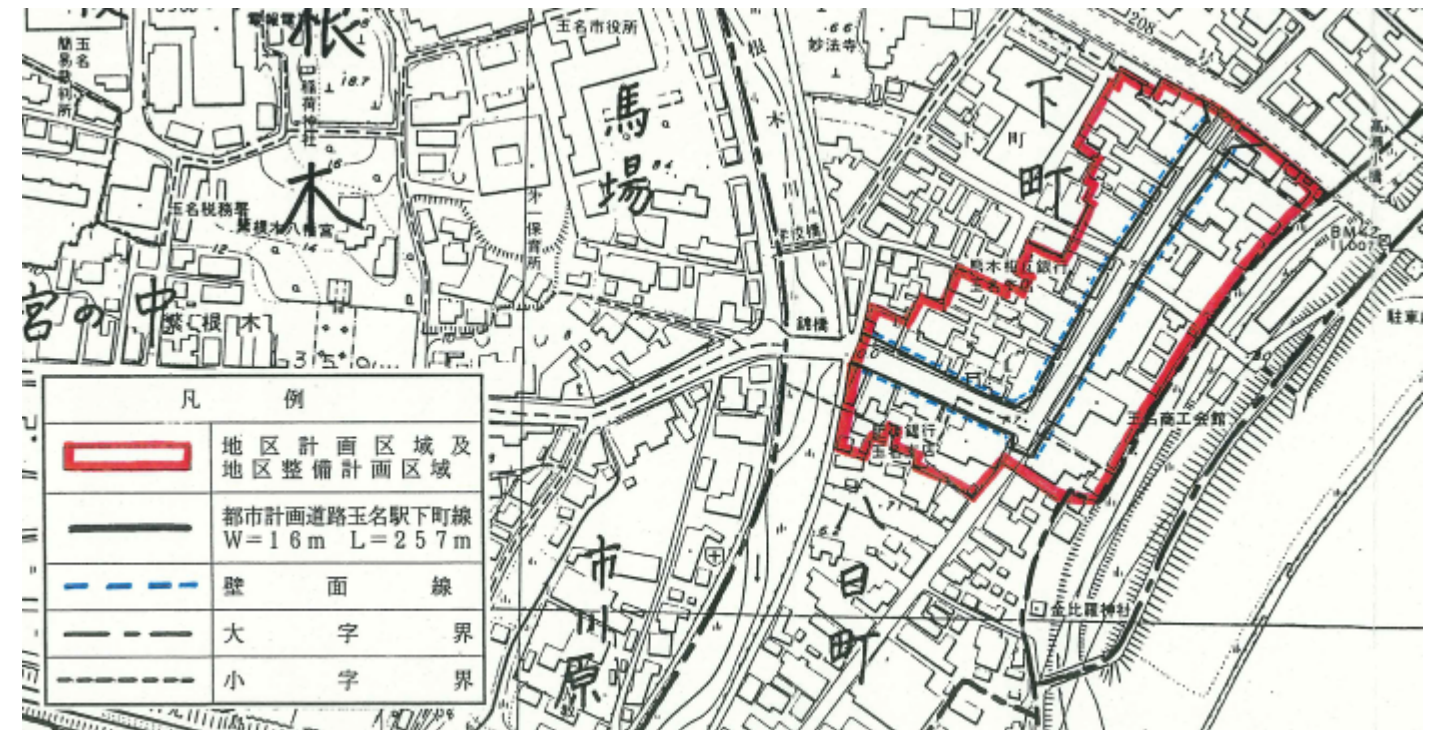
建築物	高さ 13m を超えるもの、または、建築面積 1,000 m <sup>2</sup> を超えるもの
工作物	高さ 13m を超えるもの、または、土地の面積 1,000 m <sup>2</sup> を超えるもの
さく及び塀	高さ 2m かつ長さ 50m を超えるもの
土地の区画形質の変更	変更に関わる部分の面積 3,000 m <sup>2</sup> を超えるもの、または、高さ 5m かつ長さ 10m を超えるもの

- 当該行為について景観形成基準が定められています。



## (2) 高瀬南部地区地区計画

- 玉名市では、高瀬南部地区にて地区計画を定めており、区域の整備・開発及び保全の方針（地区計画の目標、土地利用の方針、建築物等の整備の方針）、地区整備計画（建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の形態又は意匠の制限、その他工作物の制限）を規定しています。
- 特に景観に関する建築物の形態又は意匠の制限では、「建築物の屋根及び外壁等又は工作物は、歴史ある商店街として美観を損なうような色彩又は装飾を用いてはならない。」と定めています。



## (3) 玉名市高瀬地区景観形成住民協定

- 江戸・明治期の古民家が集まる玉名市高瀬地区の街並みを保存するため「玉名市高瀬地区景観形成住民協定」がまとめられ、平成 20 年 10 月 17 日に県から認定を受けました。
- 当地区では、高瀬地区を活性化させようと懇談会を開催し、崇城大学の学生や玉名市職員を交えて意見交換し、街並み保存のための自主的な統一基準として住民協定が作成されました。
- 協定は建築物を木造 2 階建てとし、壁はしっくいや木で仕上げることを規定。屋根を瓦ぶきにし、自動販売機や看板は軒先より内側に設置することなどを明記しています。



## 2 玉名市の成り立ちと地勢・土地利用

### (1) 玉名市の歴史

#### ① 古代-中世

- 玉名地方は、縄文時代から恵みの地であり、弥生時代中期以降には、高岡原遺跡、塚原遺跡、大原遺跡等から大規模な集落が営まれていたことが分かっています。古墳時代になると、玉名平野を取り囲むように山下古墳や藤光寺古墳等が築かれます。また、6世紀には、鮮やかな色彩を持つ装飾古墳が菊池川下流域に広がり、本市の特徴となっています。
- 弥生時代・古墳時代には早くも大陸と交流を持ち、その後、荘園の発達とともに産業が興り、社寺等が造営され、この地方の中心として基礎がつけられました。
- 戦国時代になると、諸大名の争奪の地となり焦土と化しましたが、加藤清正が入国して、治水と干拓に力を入れ、広大な新田を得て当地方は穀倉地帯として人口も増加しました。細川 54 万石の統治下になると、文化・経済・商業の中心地として繁栄を極めました。

#### ② 近世

- 高瀬のまちは、熊本藩の重要港湾であり国際貿易港でもある港町として栄え、藩庫として高瀬御蔵、御茶屋が置かれ、早くからまちの形成が行われた商人のまちでした。鎖国のあと貨幣経済が浸透し、肥後から全国一の 40 万俵の米を大阪に積出すようになると、その半分の 20 万俵を高瀬港から送っていました。そのなかで、高瀬裏川が菊池川から高瀬町に至る重要な運河の役割を果たしていました。
- 文化年間（1804～1817）以降は干拓が盛んに行われ、横島で細川藩家老の有吉家が中心となって大規模に干拓事業を行ったほか、有明海沿岸で多くの耕地が拓かれました。

#### ③ 近代

- 高瀬藩が置かれ武家屋敷が整備されました。しかし、藩は廃藩置県によりなくなり、武家屋敷も現在ではほとんど残っていません。
- 明治 10 年の西南戦争では高瀬が戦場となり、まちの半分は火災等により焼失し、主要な施設が失われ、高瀬の港としての機能は大幅に失われましたが、地域の拠点として復興しました。
- 明治 24 年には九州鉄道が開通し、流通手段は水運から鉄道へと移行します。
- 明治 20 年から 30 年代には、地元の有力者（大地主）による大規模な干拓事業が進みました。横島町や岱明町にて耕地が拓かれていきました。

#### ④ 現代

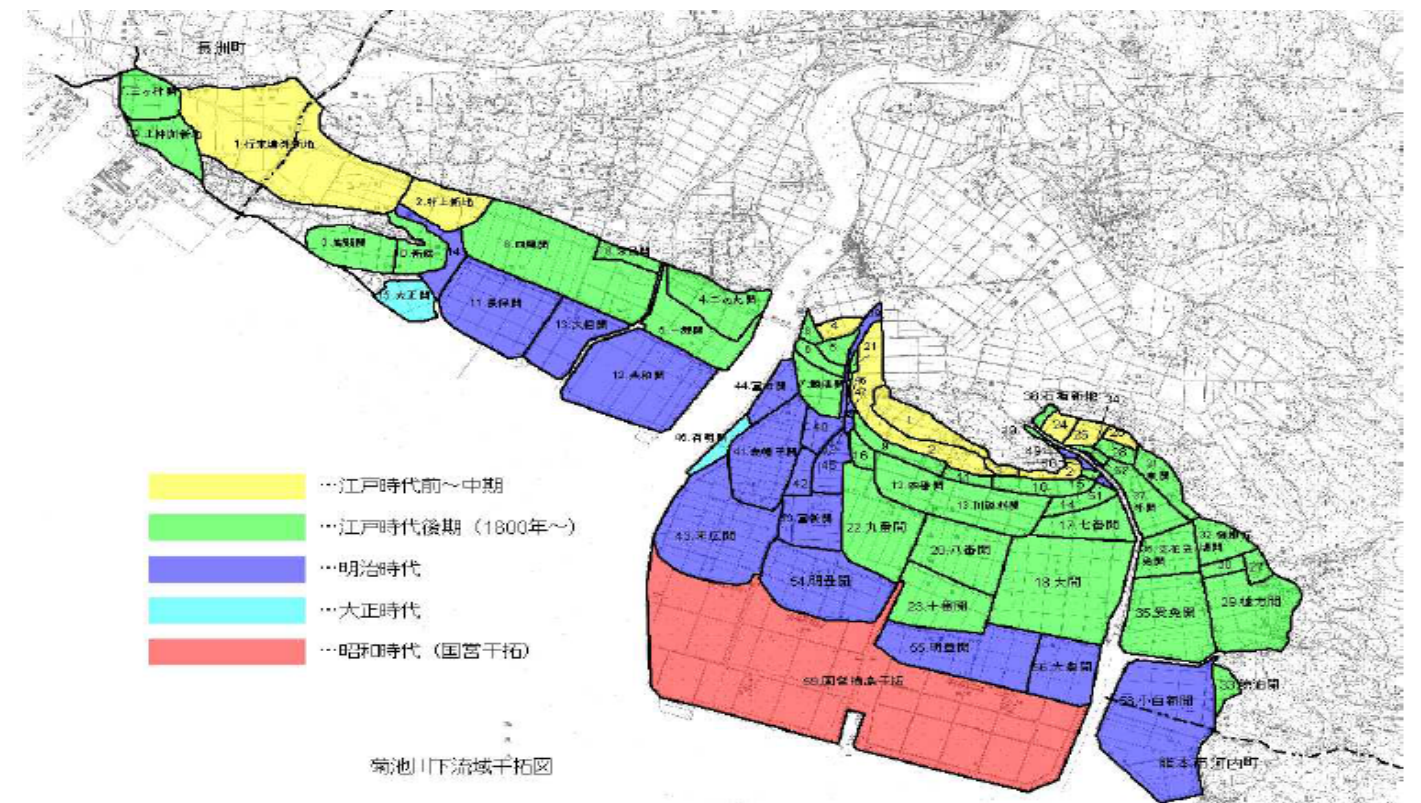
- 度重なる台風や梅雨の時期には、菊池川がはん濫、多くの犠牲を払ってきました。そのため、川岸はかさ上げされ、大洪水のあった玉名平野には、官公庁舎が建ち、玉名駅の南側のかつて湿地帯であった場所は、住宅地として造成することができるようになりました。
- 自動車交通の発達とともに、国道 208 号、国道 501 号が整備され、交通の要衝としても栄えてきま

した。

- 交通の利便性や農業生産、豊富な人材を背景に、伝統を持つ海苔加工を始め、近年は自動車関連などの工業生産も盛んです。また、玉名温泉、小天温泉など良質な温泉にも恵まれ観光資源となっています。
- 平成 23 年 3 月 12 日の九州新幹線の全面開通にあわせて新玉名駅が開業し、新たな玄関口ができるとともに、新市街地がつくられ、県北の要としての位置にあります。

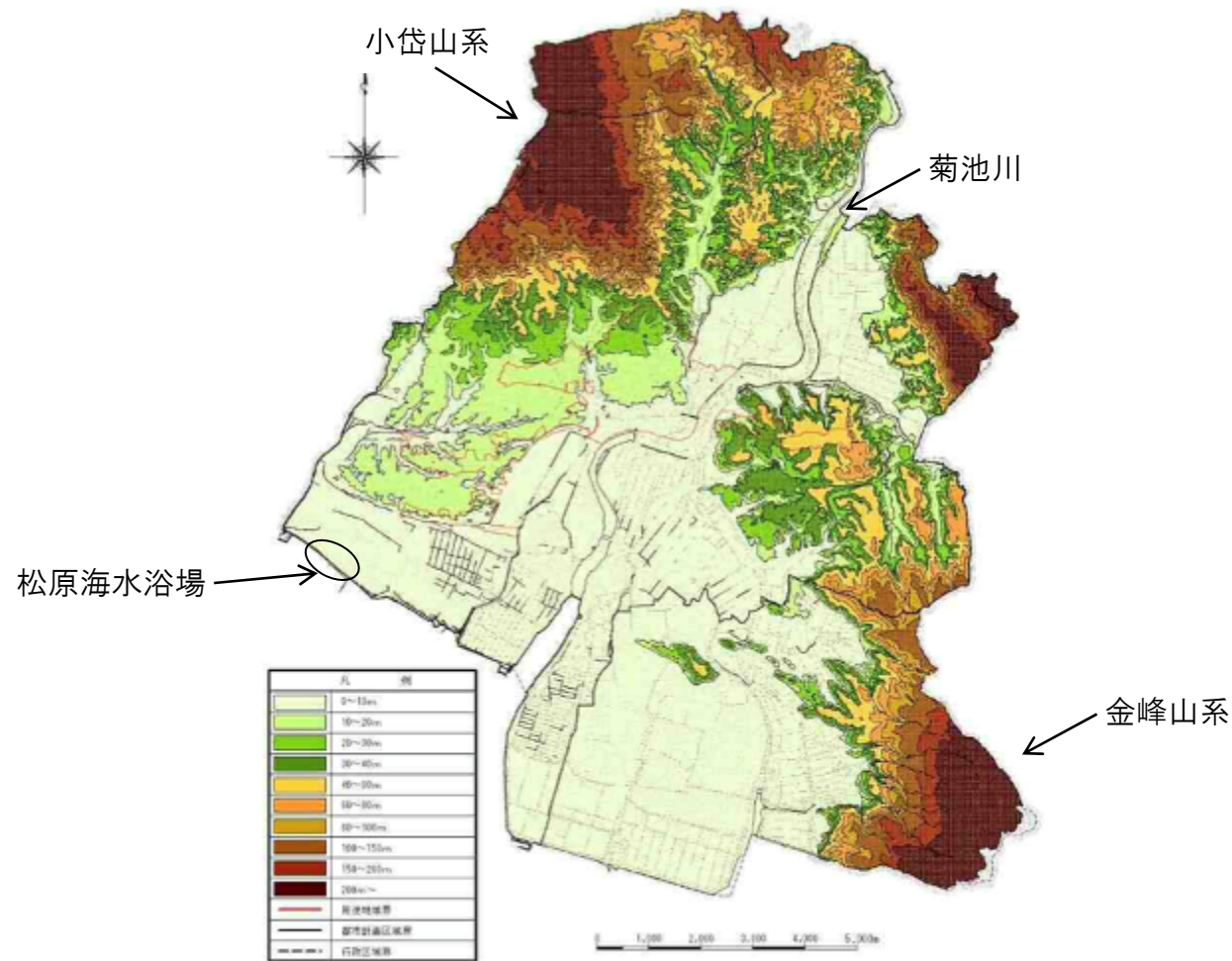
### (2) 干拓の歴史

- 江戸時代から干拓が盛んに行われ、昭和の国営横島干拓まで 75 ヶ所の干拓地が拓かれました。最も古い干拓地は清正の時代から、最も新しい干拓地は昭和 42 年（1967 年）であり、約 330 年かけて築造されました。
- 干拓とともに整備された干拓堤防は、明治時代中期から昭和時代後半まで長期にわたって、潮害から干拓地を守り抜いてきました。明治時代に起源を持つ干拓堤防が、現在の規模・状態で総延長約 5km にわたって残っている例は他にはなく、日本の産業の近代化に貢献した遺産として、また土木学的にも優れた建造物として、さらに農地を含めた風景は、歴史的にも重要な文化的景観として、大きな注目を集めています。大浜町、横島町に所在する、明治時代に建造された干拓関連施設が、「旧玉名干拓施設」として平成 22 年 6 月 29 日に国の重要文化財に指定されました。
- 新たに築造された土地は、大部分が水田として利用され、昭和 40 年代からはビニールハウスを利用した施設園芸が盛んになり、トマトやイチゴの生産が行われ、国内有数の産地となりました。



(3) 地勢

- 本市は熊本県北西部に位置し、南北の距離は約 17km、東西は約 14.5km、市域の面積は約 152 平方キロです。
- 菊池川は、流域の大地をうるおし、古墳文化を开花し、豊かな温泉が人々の心を安らかにしてくれる生活を支えてきた恵みの川であり、本市は、菊池川の恩恵を受けて繁栄してきました。菊池川が運んだ土砂による広大な干潟は、豊かな生態系を育み、海苔やアサリなどの水産業が盛んに行われています。
- 菊池川と市の中心部を挟んだ北側には、小岱山系の山々と麓の丘陵地帯の濃い緑が見られます。また、市東南部の天水地区では金峰山がそびえ、その西麓にはなだらかな丘陵地帯が広がっており、柑橘類の栽培が盛んです。
- 広大な干拓地は豊かな穀倉地帯であり、本市の主な作物は米、麦が中心で、イチゴ、トマトなどの施設園芸が行われています。
- 小岱山の麓には 1300 余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉を有しています。市の南部、有明海を望むみかん園の裾野にある小天温泉は、夏目漱石の名作「草枕」の舞台としても知られています。
- 海辺には熊本県北唯一の松原海水浴場があります。



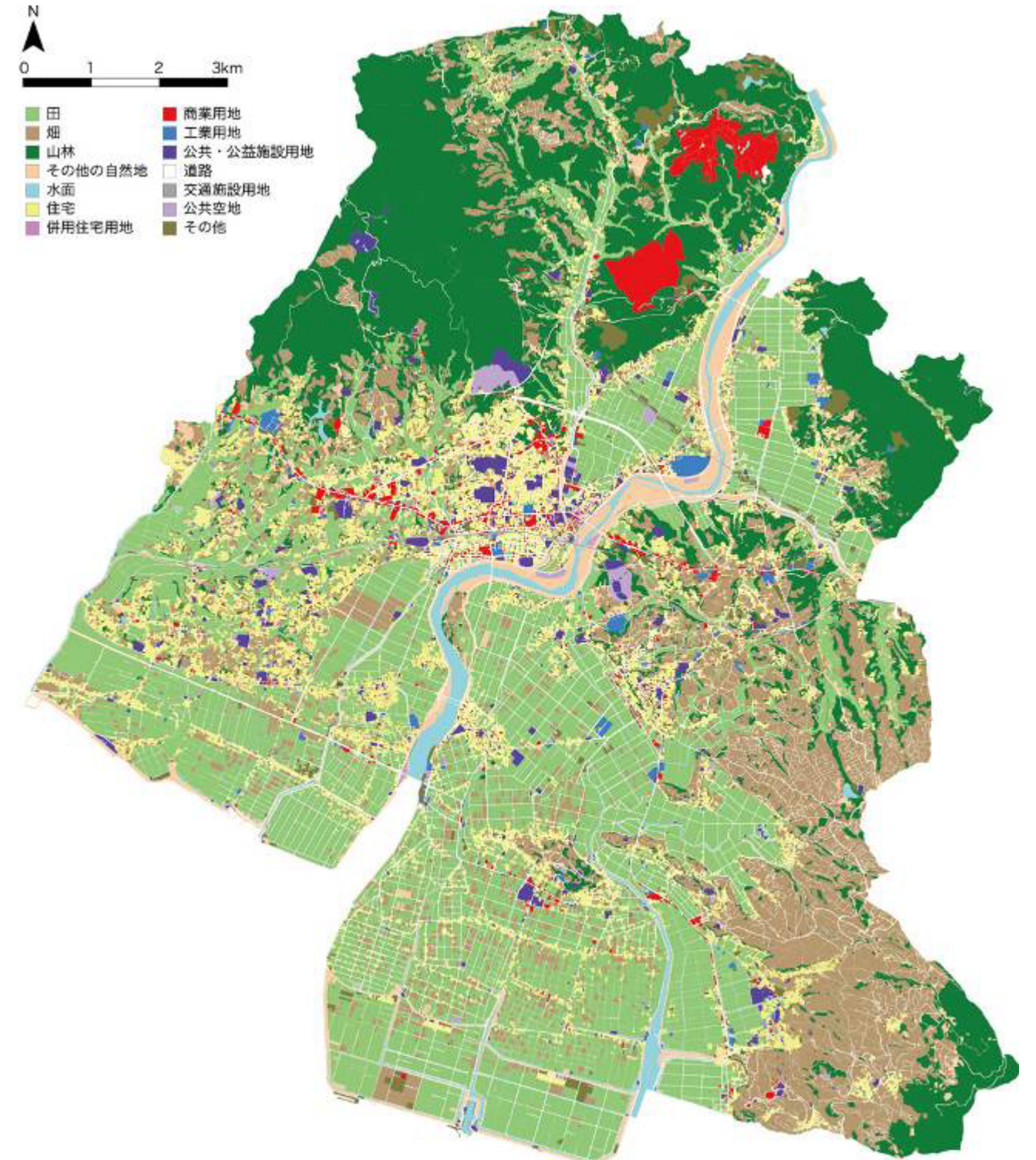
図：玉名市の地形(標高)

(4) 土地利用現況

- 田と畑で市域面積の約半数を占め、自然系面積は市域面積の約 8 割を占めています。

自然系					人工系								その他
田	畑	山林	その他の自然 地	水面	住宅	併用住 宅用地	商業 用地	工業 用地	公共・公 益施設 用地	道路	交通施 設用地	公共 空地	
4,641	2,784	3,339	685	435	1,325	40	275	112	259	815	57	67	323
30.7%	18.4%	22.0%	4.5%	2.9%	8.7%	0.3%	1.8%	0.7%	1.7%	5.4%	0.4%	0.4%	2.1%

上段の単位：ha

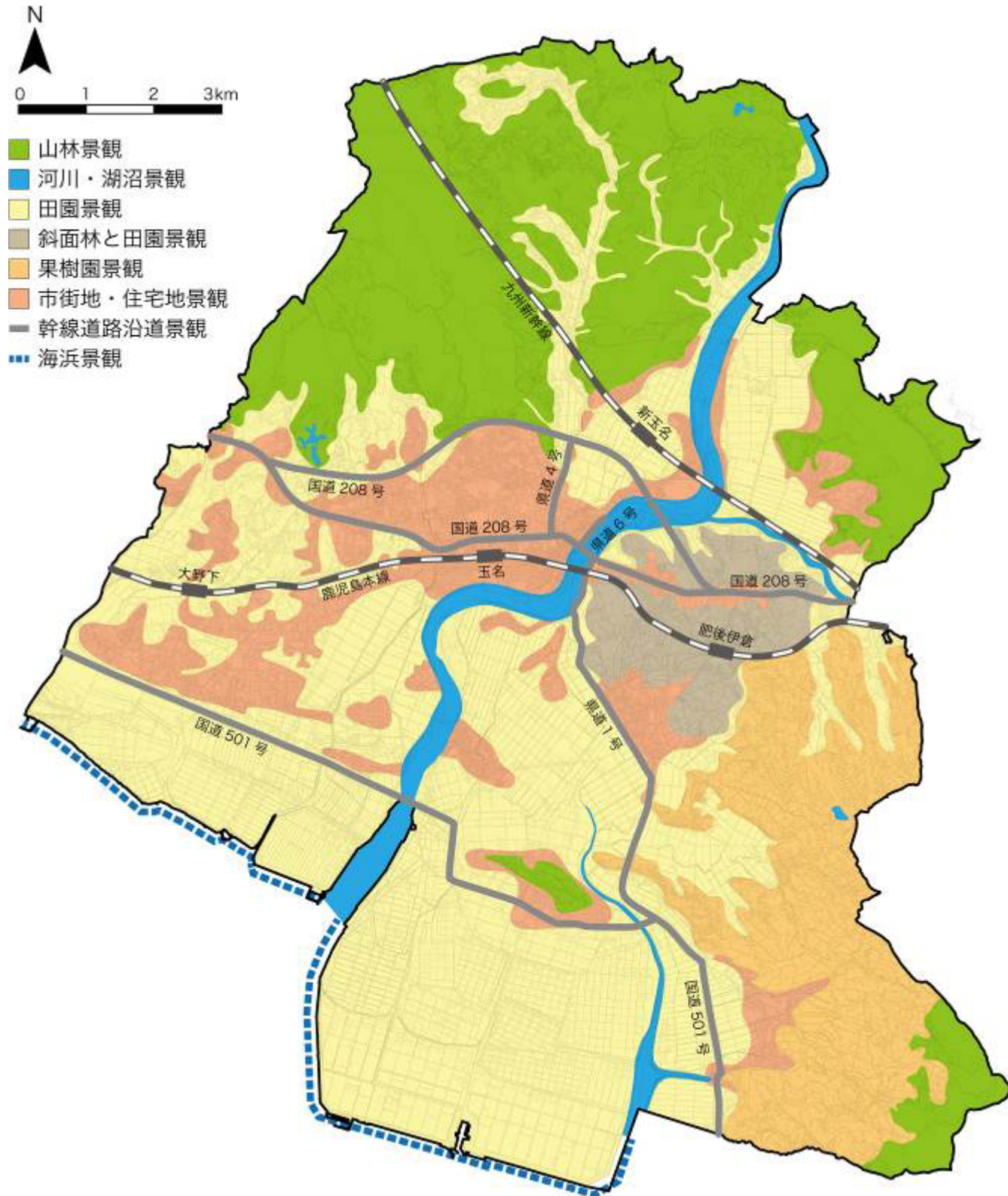


図：土地利用現況図

### 3 景観特性

#### (1) 景観構造 (面・線)

- 本市の成り立ちや土地利用現況、現地の状況を踏まえると、山林景観、河川・湖沼景観、田園景観、斜面林と田園景観、果樹園景観、市街地・住宅地景観、幹線道路沿道景観、海浜景観に分類することができます。



山林景観	小岱山系や金峰山系による緑豊かな景観が見られます。			
河川・湖沼景観	菊池川はじめ、高瀬裏川、繁根木川などの河川等の景観が見られます。			
田園景観	広大な田園、干拓地が広がり、美しい農地景観が広がっています。			
斜面林と田園景観	斜面林に囲まれた田園景観が広がっています。			
果樹園景観	金峰山系を中心にみかん畑が広がり、石垣が特徴的な景観となっています。			
市街地・住宅地景観	高瀬の町並みや住宅地、新玉名駅の新たな市街地がつけられています。			
幹線道路沿道景観	街なかでは、多彩な看板が設置されています。沿道には緑や花が植えられている所もあります。			
海浜景観	有明海や美しい白浜の海岸、漁船等の景観が見られます。			

図：景観特性図

(2) 景観構造 (線・点)

- 本市は、菊池川のハゼ並木や有明海、松原海岸、蛇ヶ谷公園などの豊かな自然景観を有しています。
- 古墳や寺院、碑などの歴史的資源が各地に残されており、特に山林部、高瀬裏川周辺に分布しています。
- 小岱山とげんやま展望公園、山の上展望公園は代表的な視点場であり、玉名平野や干拓地の雄大な景観を望むことができます。



(3) 文化財

- 本市の文化財指定状況は、指定・登録併せて149件となっています。(H24.3.31現在)その内訳は、国指定文化財9件(旧玉名干拓施設、大坊古墳など)、国登録記念物1件(菊池川堤防のハゼ並木)、国登録文化財7件(梅林天満宮、熊本県立玉名高等学校本館など)、県指定文化財13件(高瀬目鏡橋、経塚・大塚古墳群など)、市指定文化財73件(伝左山古墳、高瀬船着場跡など)、市登録・選択文化財46件(玉名郡倉跡、孝女つやの碑など)と内容は自然や干拓遺産をはじめ歴史的な文化財など多岐にわたっています。

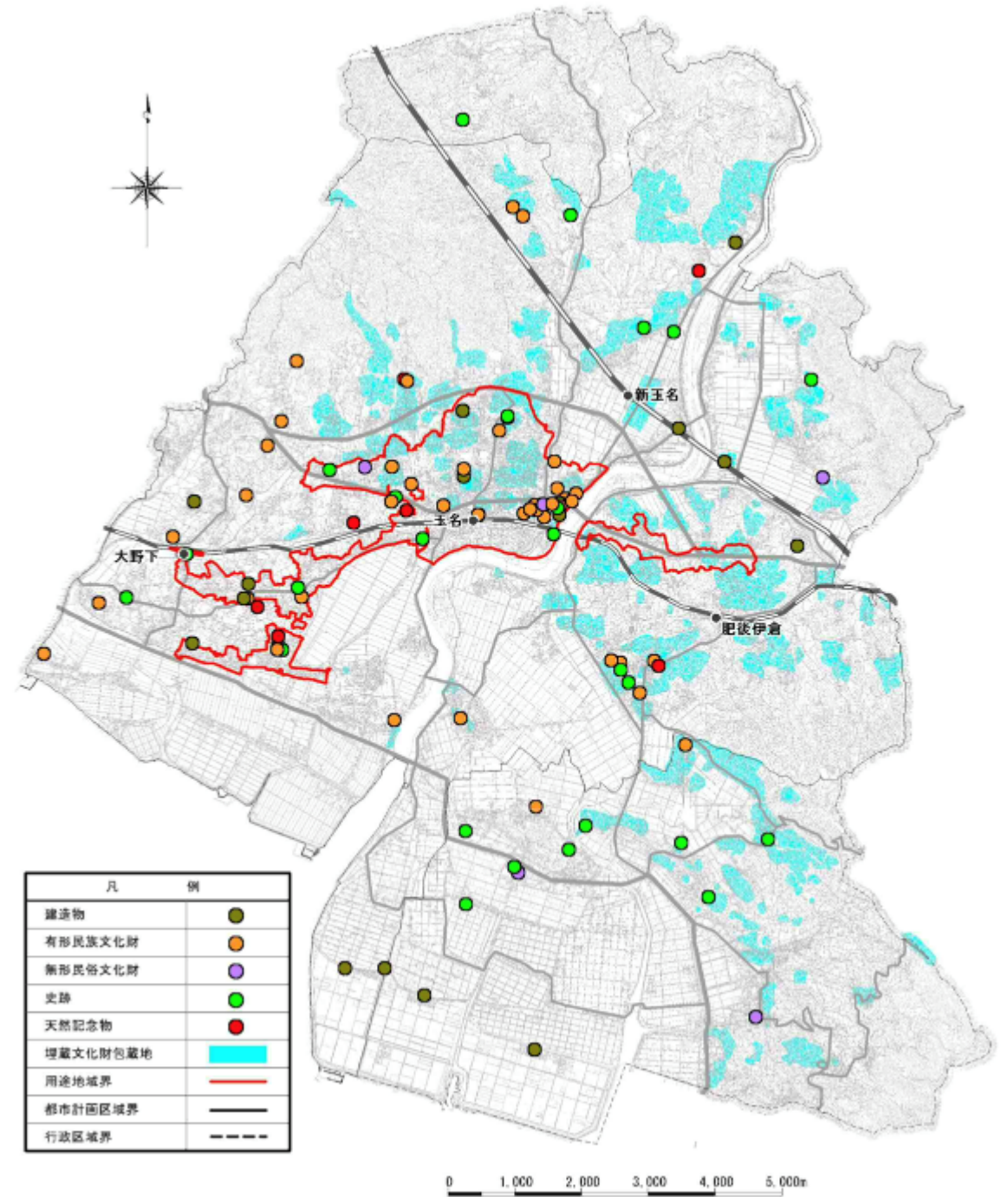
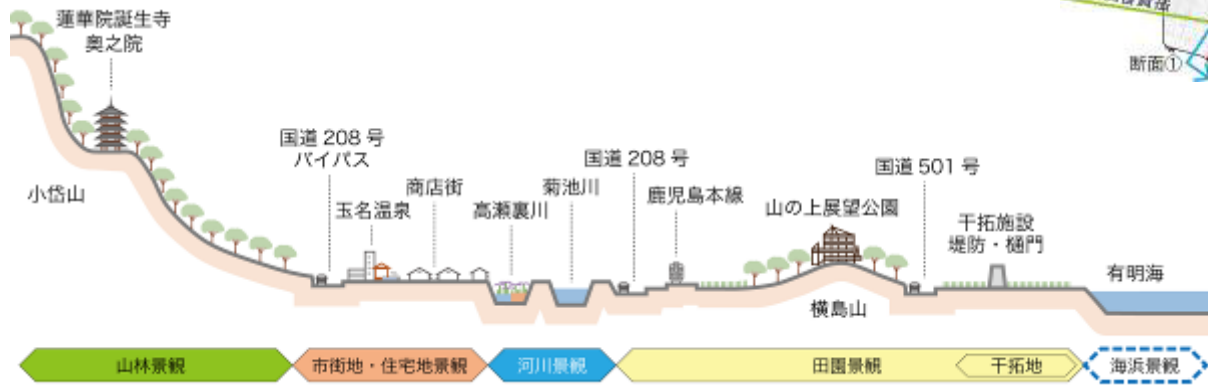


図:文化財位置図

(4) 景観構造 (断面)

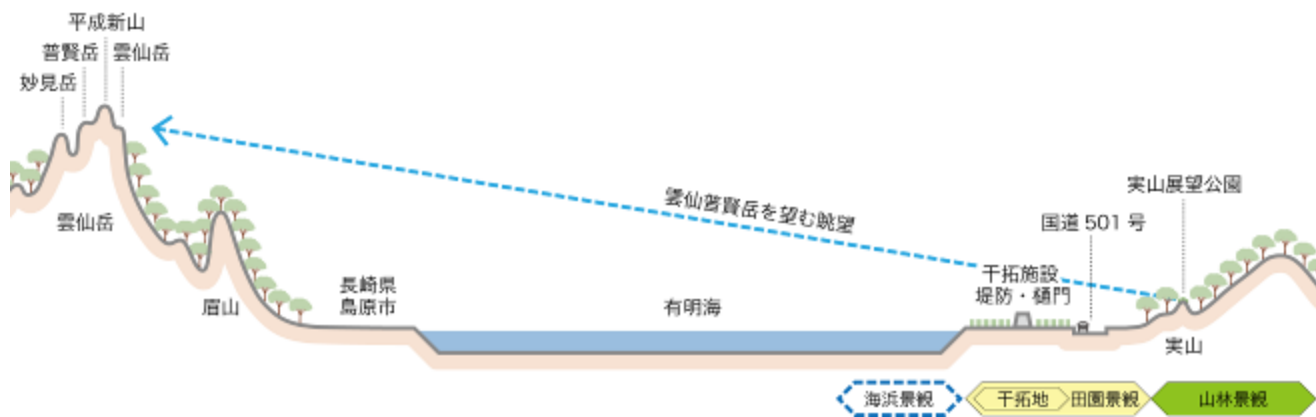
① 断面①

- 小岱山から有明海の断面構造を見ると、山林景観、市街地・住宅地景観、河川景観、田園景観、干拓地、海浜景観となっており、多様な景観がつけられています。



② 断面②

- 実山展望公園からは、干拓地施設を含む美しい田園景観が眼下に見え、その先には有明海が広がり、遠景には雲仙普賢岳を望むことができます。このような壮大な景観を望むことができる代表的な眺望点となっています。



(5) 景観構造 (伝統・行事)

- 本市のまつり・イベントは、春夏秋冬で非日常の景観を見せています。

時期	主なまつり・イベント	内容
3月3~4日	玉名市初市	春の訪れを告げる植木市
3月第1日曜日	玉名ハーフマラソン	公認コース 10km、ハーフ
4月中旬	伊倉南北八幡宮春季大祭	年頃の女性が稚児とともに伊倉のまちを練り歩く
5月下旬~6月中旬	高瀬裏川花しょうぶまつり	高瀬裏川に花しょうぶが咲き誇る
6月12日	龍火くんだり	ご霊火を約 1,200 人の信者たちが本院まで運ぶ光景は幻想的
8月第1金曜日	玉名納涼花火大会	県内最大級の 10,000 発の花火は必見
10月15日	疋野神社大祭	由緒ある古い神祭で神楽、射的行事
10月15日	四十九池神社大祭	神楽奉納と花火
10月中旬	小天神社火の神祭り	疫病退治として始まった火祭り。神の子 2 人の少年による火渡り神事
10月中旬	伊倉南北八幡宮秋季大祭	年頃の女性が稚児とともに伊倉のまちを練り歩く
10月28~29日	繁根木八幡宮大祭	稚児行列や武者行列、又馬に稚児を乗せ節頭等が踊りながら市内を練り歩く
11月3日	奥之院大祭	相撲大会、門前市、横綱や人気力士の奉納相撲など
11月23日	玉名大俵まつり	直径 2.5m、幅 4m、重さ 1t の巨大な俵を転がす日本唯一のまつり
11月25日	梅林天満宮大祭	馬に乗り 9 本の矢を射る。矢は守り神として奪い合いになる
1月17日	シシ食い祭り	農作物を食い荒らすイノシシを退治し肉を農民に分けたという故事に由来。5 地区を渡す節頭渡し
2月最終日曜日	玉名市横島町いちごマラソン大会	早春の田園風景の中を走る



高瀬裏川花しょうぶまつり



龍火くんだり



玉名大俵まつり

(6) 景観まちづくり活動

市内では、景観に関わるまちづくり活動が行われています。これらの活動は市民の身近な所から良好な景観を生み出すことができ、景観づくりの大きな力となっています。

			
<p>修景前</p> <p>修景後</p> <p>高瀬地区修景事業 (高瀬まちづくり協議会)</p>		<p>天水ウォーキング (天水・草枕の里観光協議会)</p>	<p>花いっぱい運動 (八嘉校区まちづくり委員会)</p>
			
<p>うろんころん高瀬 (高瀬まちづくり協議会)</p>	<p>高瀬まちとみちを考える集い (高瀬まちづくり協議会)</p>	<p>築山校区の花づくり (築山校区まちづくり委員会)</p>	<p>藤の里事業 (築山校区まちづくり委員会)</p>
			
<p>干拓堤防の清掃 (玉名市横島町文化財保存顕彰会)</p>	<p>サテライト研究室 (崇城大学秋元研究室)</p>	<p>田んぼアート (田んぼアートプロジェクト委員会)</p>	<p>ホタルの里 日嶽清掃活動 (睦合地区まちづくり委員会)</p>



(7) 玉名市の景観特性（玉名市らしい景観）

“1 玉名市の成り立ちと地勢・土地利用”と“2 景観特性 (1)～(5)”を踏まえ、本市の景観特性を以下に整理します。

自然景観			眺望景観
<p><b>玉名市にあらゆる恵みを与えてきた菊池川の景観</b></p>  <p>本市を貫く雄大な菊池川の景観は特徴的です。</p>	<p><b>小岱山系や金峰山系が育む緑豊かな山林景観</b></p>  <p>小岱山や金峰山は地域のシンボルであり、豊かな山林景観が育まれています。</p>	<p><b>美しい有明海と松原海岸の海浜景観</b></p>  <p>白浜海岸と有明海が美しい海浜景観を見せています。</p>	<p><b>稜線が美しい山並みを望む玉名平野からの眺望景観</b></p>  <p>小岱山や金峰山の稜線が、美しい眺望景観を見せています。</p>
生業の景観			
<p><b>雄大な農地が広がる美しい田園景観</b></p>  <p>広大な農地が広がる田園景観は、四季を通じて美しい姿を見せています。</p>	<p><b>約330年もの長い年月かけて築造された干拓地の文化的景観</b></p>  <p>先達たちの努力や歴史を感じる干拓施設と干拓地が調和した姿は希有な景観となっています。</p>	<p><b>丘陵地帯の特性を生かした石積みのみかん畑の景観</b></p>  <p>広大なみかん畑と石垣が調和した特徴的な景観がつけられています。</p>	<p><b>玉名平野を眼下に、遠景の雲仙普賢岳を望む絶景の眺望景観</b></p>  <p>眼下に広がる玉名平野やみかん畑、遠景に望む雲仙普賢岳の眺望は、圧巻な景観を見せています。</p>
市街地景観			イベント景観
<p><b>商人のまちとして栄えてきた商店街と高瀬裏川の景観</b></p>  <p>高瀬の町並みやかつての運河の遺構、ショウブが織りなす特徴的な景観がつけられています。</p>	<p><b>1300余年の歴史を持つ玉名温泉と温泉街のまちなみ景観</b></p>  <p>玉名温泉の歴史を伝える温泉街の街並みは、独特の景観を見せています。</p>	<p><b>新しい市街地形成が期待される新玉名駅の周辺景観</b></p>  <p>新しい顔としての整備が期待される新市街地の景観となっています。</p>	<p><b>春夏秋冬の伝統行事による非日常の景観</b></p>  <p>伝統的な行事や祭は、本市ならではの非日常的な景観を見せています。</p>

## 4 景観形成に向けた問題点・課題

### (1) 景観形成に向けた問題点

“2 景観特性”より、本市の景観の特徴を整理しましたが、良好な景観形成に向けて問題となる恐れのある要素を以下に整理します。

#### ① 建築物等の色彩

- アンケート調査では、色彩に不快を覚えたものとして、「道路上や店舗前の立て看板、のぼり等」「周辺の風景と色合いの違う大規模な建物等」「周辺の風景と色合いの違う住宅」の割合が高くなっています。
- 市街地において、原色を使った店舗や屋外広告物が見られます。また、郊外では、彩度の高い色彩を使った工場・倉庫も見られます。
- 彩度の高い自動販売機や擁壁が見られます。

資料写真	資料写真	資料写真
資料写真	資料写真	

#### ② 街並みの連続性の分断

- 周辺の街並みや雰囲気に調和していない建物や工作物が見られます。

資料写真	資料写真
------	------

#### ③ 屋外広告物の乱雑な掲出

- 国道 208 号沿道や田園内への屋外広告物の乱立が見られます。

資料写真	資料写真	資料写真
------	------	------

#### ④ 空き家や土地等の管理

- 空き家や空き地、耕作放棄地、道路沿道の雑草など、建物や土地の管理が行き届いていないところがあります。

### (2) 景観形成に向けた課題(案)

“2 景観特性”及び“3 景観課題 (1)」、アンケート。景観ワークショップ、景観学習会を踏まえ、本市の景観課題を以下に整理します。

#### 課題1 景観に対する関心や意識の高揚が必要

景観は、市民の日常の生活や経済活動の積み重ねにより形づくられています。「良い景観をつくろう」とする景観に対する関心や「景観は市民の財産である」という意識を高めることは、良好な景観形成には不可欠です。

⇒【主な現状や意見】

景観全般に関連／屋外広告物の乱立／派手な色彩の建物等

#### 課題2 先人たちがつくり上げてきた景観を守り、育てていくことが必要

現在の景観は、突然できあがったものではありません。干拓施設と田園が調和した文化的景観や商人のまちとしての市街地の成り立ち、菊池川や高瀬裏川に代表される河川景観、丘陵地に拓いたみかん畑など、先人たちの努力と長い年月を経て現在の景観がつくられています。

こうした資源を活かすことは、景観を守り育てていくだけでなく、本市らしい景観形成を図るために不可欠です。

⇒【主な現状や意見】

景観資源を活かしきれていない／文化遺産を活用していない／自然は多くあるが、他地域に比べると景観は劣る など

#### 課題3 景観特性を活かした身の丈に合った景観形成のあり方やルールが必要

景観に対する関心や景観まちづくりの熟度に合わせて、少しずつ景観を育てていくことが重要です。そのためには、市民の理解を得て確実に実行でき、かつ、良好な景観に向けた誘導を行うことができる景観形成のあり方の整理と身の丈に合ったルールづくりが必要です。

⇒【主な現状や意見】

街並みに連続性がない／派手な看板が多い／不法投棄／建築物等の色彩／温泉街の情緒がない／空き地・空き家が目立つ など

#### 課題4 市民による景観まちづくりの推進が必要

“3 景観特性 (8) 景観まちづくり活動”より、市内には景観まちづくりに関わる活動団体があります。市民による景観まちづくりは、行政による景観誘導ではカバーできない、きめ細やかな景観をつくることのできるため、これらの活動の後押しが必要です。

⇒【主な現状や意見】

地域努力による景観づくりがある／花作りが盛ん／景観まちづくり活動が盛ん／崇城大学の活動がある など